

つまれ!

写経の日程

奉讃 白隠禅師二百五十年遠諱

奉納 妙心寺本尊釈迦牟尼佛真前

白隠禅師坐禅和讃御写経

第4土曜日の午後1時半から4時半まで本堂で写経ができます。

都合の良い時間に来て、ご自分のペースで写経して、好きな時間にお帰りください。ただし、初めての時はなるべく一時半にご参集ください。もちろん、檀家さん以外でも参加できます。お友だちを誘ってお越しください

【写経】令和7年上半年開催日

3月	22日(土)	午後1時半～4時半
4月	26日(土)	午後1時半～4時半
5月	24日(土)	午後1時半～4時半
6月	28日(土)	午後1時半～4時半
7月	26日(土)	午後1時半～4時半
8月	お盆行事のため休会	

法要後は、春らしく華やかに、弦楽四重奏の演奏。

四重奏で何とナンとなにだ？と思う人も来て！

【日曜の朝の坐禅体験】

続いています



毎週日曜日の朝六時～七時、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方には、坐り方をご案内します。

三十分坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に終わります。

続いています

【金つぎ教室】講師 花輪滋實

第四土曜日 午後一時半～四時半 会費3千円



新企画

【大人のためのリトミック】講師 大澤佳奈子

会費5百円

3月	1日(土)	午後3時～4時
4月	12日(土)	午後3時～4時
5月	10日(土)	午後3時～4時
6月	14日(土)	午後3時～4時
7月	12日(土)	午後3時～4時

本堂はすべて椅子席です。椅子を並べる間隔を調整するため、電話・FAX・Eメール等でご出席をお知らせください。

【編集後記】

○読売新聞朝刊、第一面のコラム「編集手帳」を長く担当した竹内記者の著書に、『竹内政明の「編集手帳」傑作選』（中公新書クラレ）があります。その中で、「役者殺すにや刃物は要らぬ、ものの三度も褒めりゃいい」という金言が紹介されています。少し物騒なことばですが、「有頂天になるなよ」。そんな戒めでしょ（ちなみに有頂天は仏教語です）。

○昨秋、『またまたおうちで禅』を出版して、進呈した方、あるいは買ってくださいった方から頂戴したお便りの中で、暮れから正月にかけて入院し、手術をした女性からの手紙がありました。手術前と後に、『またまたおうちで禅』を、咳が止まらない病牀で読んでくださったという。便箋三枚の書面には次のようにつぶられていました。「病気の時に少しずつ読むことができ、不安もある中で、この御本が手元にあり幸せでした」。ここまで言っていたのだと、書を世に出した者としても幸せです。涙腺を刺激されました。

○あるいは、前著『おうちで禅』を修行道場の先輩に謹呈したら、その方も難しい病の治療で入院した時、病牀で『おうちで禅』を毎日一節ずつ読んでくれた。数か月に及ぶ入院で「何回も読みかえたよ。読みやすい本だった」。そう褒めてくれました。褒め言葉だけでは自慢話になってしまう。先輩は富山市にある禅寺の住職です。禅僧らしくスパイスのきいた言葉で、しめくくってくれました。

「入院しなければ、読まなかったけど」（博芳記）

墓地管理費のお願いを同封しています。郵便振替で七月末までにお納めください。

なお、三月十七日から二十日まで、墓地では花と線香を用意しています。

3月17日（月曜日＝彼岸入り）から20日（彼岸中日）まで、朝8時頃から夕方4時頃まで、墓地では花と線香を用意しております。

